

ウェアやシューズ バンクラで復活へ

清水商高がプロジェクト

11.10.21

部活動を引退して使わなくなったトレーニングウェアやシューズをバンクラデッシュに送り、再利用してもらう「BUKATUアイテム復活プロジェクト」が今月、静岡市清水区の市立清水商高で本格的に始動した。市内在住のバンクラデッシュ人らが橋渡し役になり、来年初めにも第1陣を現地へ向けて送る。



使わなくなったウェアやシューズなどを持ち寄る生徒。静岡市清水区の市立清水商高

うと、2人が中心となった呼び掛けに清水商高が応じ、今年の夏から各運動部に動きかけ、準備を進めてきた。初の回収日になった20日は、昼休みに生徒たちが段ボールやビニール袋にいっぱいになったウェアや靴を持ち寄り、1日でウェア11箱、シューズ6箱分が集まった。仕分けを担当する生徒会の若林侑弥会長は「予想以上の量が集まりうれしい。少しでも僕たちの服や靴が役になってくれれば」と満足げに語った。

年明けに第1陣部活動の不用品送る

プロジェクトは、清水け。ニアズさんによると、商高OBで同市の会社社長 首都ダツカの北東約35歳長宿田雅徳さん(43)が、にある出身地のナルシンを訪れ、手渡す予定のニ知人で飲食店など経営する。デイでは、貧富の差が激アズさんは「バンクラデッシュ人のニしく、スポーツ用のウェアアズ・アハメドさん(40)アやシューズを用意でき

同市から、現地の話ない人も多いという。かの学校にも広げたい」を聞いたことがきついか 現地に運動用品を送る と抱負を語った。